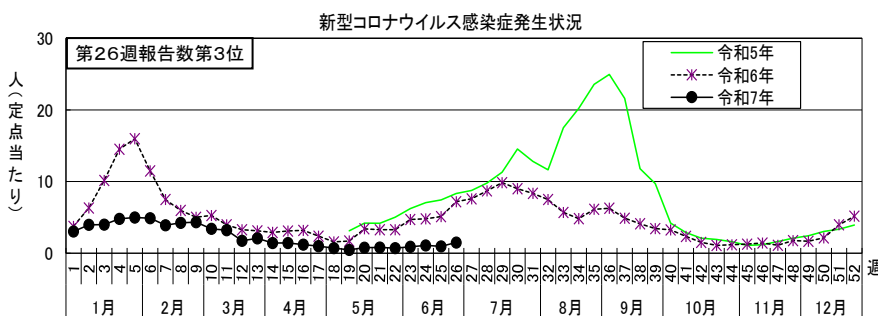
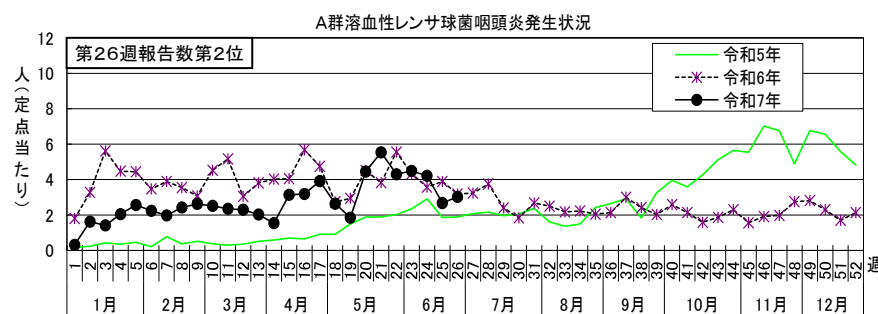
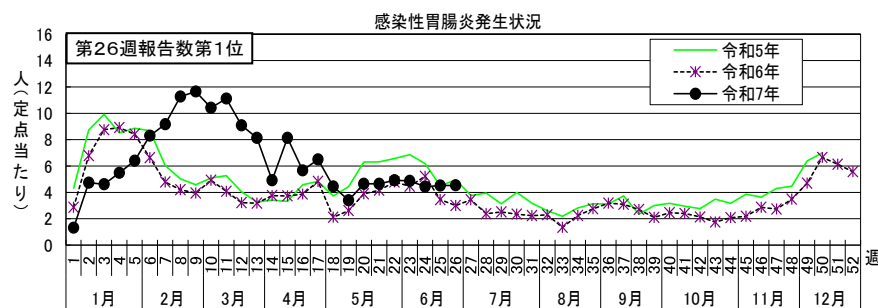


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年6月23日（月）～令和7年6月29日（日）〔令和7年第26週〕の感染症発生状況

第26週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.54人と前週（4.51人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.03人と前週（2.68人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.49人と前週（0.97人）から増加しました。

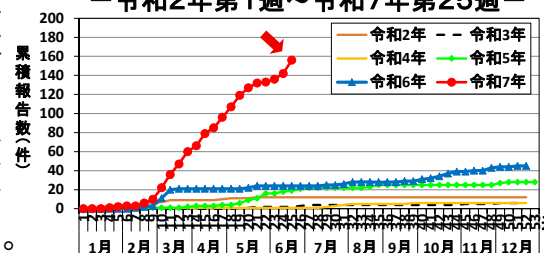


全国で麻しんの報告数が増加しています！

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性感染症で、感染すると発熱や咳、鼻汁、発しん等の症状を呈します。国内では麻しんは排除状態にありますが、今年は3月以降、全国で輸入例及び輸入例を発端とした患者の発生が相次いでおり、神奈川県内では第25週までに26件の報告がありました。

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、患者と同じ公共交通機関を利用することで感染する場合があります。免疫のない人が感染するとほぼ100%発症し、重症化すると死亡することもあります。予防するためにはワクチン接種が有効ですが、十分な免疫を獲得するためには2回の接種が必要です。お子さんの定期予防接種歴を確認し、確実に2回の接種を受けましょう。

国内における麻しんの累積報告数の推移
— 令和2年第1週～令和7年第25週 —



麻しんとは？

【感染経路】
空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】
7～18日間（最長21日間程度）

【主な症状】
発熱、発しん、咳、鼻汁、結膜充血など

【予防方法】
麻しん含有ワクチン（MRワクチン等）の接種



【感染可能期間】

